



3年生 修学旅行

6月8日(木)～10日(土)の日程で、3年生が修学旅行に行ってきました。初日に広島で雨に降られましたが、それ以外は天候にも恵まれて、順調に各地を見学することができました。

1日目、新幹線で広島に到着。すぐにバスで平和記念公園に移動し、「被爆された方による平和講和」、「平和セレモニー」、「平和記念資料館見学」、「ガイドボランティアさんとの碑めぐり」を中心に学習しました。平和セレモニーでは、生徒代表の河村翔さんが朗読した「平和宣言」と、平和への祈りをこめて歌った「“空は今”の全員合唱」により、平和の尊さと平和の大切さを語り継ぐ責任についてしっかり学ぶことができました。平和講和の講師をしていただいた八幡照子さんも、「たいへんすばらしい取り組みです。」と、涙ながらに褒めてくださいました。

2日目、宮島に渡り、厳島神社の見学を含む、宮島島内の班別自主研修を行いました。神の使いとされる鹿を愛でながら、ときにお土産にいたずらをする鹿から遠ざかりながら宮島を散策しました。午後は、また新幹線で神戸に向かい、神戸市内を班別で散策しました。チャイナタウン「南京町」や港町神戸を象徴する「メリケンパーク」や「ハーバーランド」などを歩いて回りました。夜は、「ルミナス神戸2」に乗船し、夜景を眺めながら夕食をとりました。

3日目は、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)にて、班別行動です。どの班も時間を有効に使いながら、お目当ての乗り物やお土産の買い物を楽しんでいました。

今回の修学旅行で、全体的に笑顔が多く、楽しく過ごせたことや決められた時間を守れていたこと等、成果がみられました。大きな集団での行動ですので、とても大事なことです。よくがんばったと思います。このほかに、みんなで決めたルールをきちんと守ることなど、あらためて反省もして、今後の学校生活にいかしていってほしいと思います。特に大きなけが等もなく参加者全員が無事に帰ってこられたことが何よりです。3年生の保護者の皆様、事前の準備や当日の送迎等、ご協力ありがとうございました。

なお、令和4年度中にお知らせしましたとおり、令和6年度からの修学旅行の目的地は、山梨・静岡方面となりますので、あらためてご承知いただきますようお願いいたします。



平和宣言

世界には、今なお、恐ろしい核兵器が存在し、戦争やテロなどが絶えません。核兵器は、人類の文化、財産、そして尊い人命を一瞬にして、奪う恐ろしい兵器です。核兵器をこの世から、捨て去りたい。そのために、世界の人々と戦争のない平和な世界を築きあげる心が必要です。

私たちは、修学旅行に向け、広島原爆についての学習を進めてきました。

世界で初めて原爆が落とされた場所であり、熱線、爆風、放射線などにより、十四万人もの人々が亡くなっていました。そして、その後も放射線による障害により、多くの人が苦しみ、命を失いました。自分が大切にしてきた場所や、大切な人の命でさえも、目の前で一瞬にして奪われてしまったのです。どれも、私たちには想像のできないような悲しい出来事がたくさん起こっていたことを知りました。

学校へ行けば友達がい、帰ることのできる場所があ、大切な家族がい…。私たちは、私たちの「あたりまえ」を、今すぐに幸せだと思ふことや、大切にしようとすぐに行動することは、難しいと思ふます。

しかし、ここにいる私たちは、過去について、正しい知識を持つ必要があります。学びを正しい選択へ生かす必要があります。未来へ伝えていく必要があります。人々の平和への思いを、つないでいく必要があります。これが、今を生き、未来を背負う私たちの使命です。

私たちには、「正しい選択」がまだ何かはわかりません。しかし、私たちがわかっていることは一つあります。それは、二度と戦争を繰り返さないことが「正しい選択」へ繋がるということです。だからこそ、もう繰り返すことのないように、私たちは過去を真っ向から見据えます。傷つく人が減るように、傷つけられた人々の声を聞きます。

そして、未来のために、世界への広い視野を持って行きたい。全ての隔たりをなくし、たくさん人々と助け合っていきたい。力ではなく、言葉でわかり合えるようになりたい。一人一人が自分には何ができるかを考えていきたいと思ふます。

私たちの生きていく未来のために、私たちは何ができるかを、常に自問自答し続けなければなりません。そして、行動を起こさなければなりません。私たちは無力ではないはずで、一個人が、国を動かすことができなくても、たとえ小さなことであっても、できることはたくさんあります。明日、友達に会ったら、笑顔で挨拶してみること。まわりの人に、一言や二言でも、優しい言葉がけをすること。小さなことではありますが、この積み重ねが、大切なことだと思ふます。それを続けることが平和への第一歩であり、あの悲しい時代からの夜明けであると私たちは思ふています。

この広島原爆についての学習を通して、戦争や原爆の悲惨さだけでなく、自分たちのこれからのについても考えることができるようになりました。

- ・私たちは被爆者の方々の願ひを受け継いでいきます。
- ・私たちは核兵器の恐ろしさを世界中の人々に訴え続けます。
- ・私たちは平和の大切さについて、考え、伝えていきます。

平和な世界を築くまで。

令和五年 六月八日

三重県亀山市立中部中学校 生徒代表 河村 翔